



### 冬のことはあそび 五七五に思いのせ

江刈保育園(中崎廣子園長嘱託員、園児16人)は1月27日、冬のことはあそびを行い葛巻俳句会の齋藤誠子さん(下町)を講師に俳句作りに挑戦しました。

子どもたちは、雪だるまやかまくらなど冬ならではの言葉をお題に一句。指折り数えて確認しては「できた!」と元気よく手を挙げていました。また、中崎心央成くん(4歳)は保育園や自宅近くを流れる川で白鳥を見掛けたことを詠み「毎年、白鳥が来るのでうれしいです」と目を輝かせていました。

次々と思いついた句を講師の齋藤さん(中央)に書き留めてもらおうと手を挙げて待つ子どもたち

### 節分の日 2月2日は124年ぶり 葛保で元気に鬼退治!

124年ぶりに節分の日となった2月2日、葛巻保育園(茅森幸子園長、園児65人)で豆まきが行われました。

始めに本当の鬼は目には見えず、みんなの心の中にあるなどの説明を受け、想像を膨らませた園児らが不安を感じて泣き出す場面も。太鼓の音とともに鬼が登場すると、せきを切ったように次々と大泣き。必死で逃げ惑う子どもたちの中には、心の中に広がる怖さに打ち勝ち、目の前の鬼を退治しようと勇敢に立ち向かう姿もありました。



鬼の登場に怖がり必死で逃げ惑う園児たち

### ソフトバレーボール大会 スポーツ通じ交流深める

町バレーボール協会主催の第16回葛巻町ソフトバレーボール交流大会は2月14日、社会体育館で開催され7チーム37人が出場しました。

ゴム製の柔らかいボールを使用し、4人1組で対戦。選手らは声を掛け合いながらボールをつなぎ、熱戦を繰り広げました。また、初めて参加した選手は「力加減が難しい」「思った所が上がらない」と弾力性のあるボールの扱いを試行錯誤しながら楽しんでいました。

試合の結果は次のとおりです。1位ニッショビ、2位サワーズ、3位パール、Shock MeG



はつらつとしたプレーで熱戦を繰り広げる選手たち



雪を集めるために力を合わせて雪玉を転がす児童たち

### 葛小雪っこチャレンジ 力合わせて雪像づくり

葛巻小学校(佐藤隆司校長、児童108人)は1月21日、雪っこチャレンジ集会を行い1年生から6年生で構成する縦割り班ごとの雪像づくりに取り組みました。

子どもたちは、事前に考えた設計図を基に、かまくらや牛などを製作しました。始めにバケツやスコップを使ったり、大きな雪玉を転がしてきては崩して加えるなど、力を合わせて土台作り。形を整えた後は、絵の具を水に溶かして丁寧に色付けし、色とりどりのかわいらしい雪像を仕上げていました。

### 葛高生がアナウンス体験 相手に伝わる読み方学ぶ

1月19日、くずまきテレビのアナウンス体験が行われ、葛巻高校の生徒3人が感染症防止対策CMのナレーションに挑戦しました。

野路悠稀さん(1年)は「声に強弱が出ないように自分の感情をコントロールしながら話すのは難しかったけれど、良い経験になりました」と話し、相手に伝わる読み方のヒントを得たようでした。この体験は、葛巻高校魅力化プロジェクトの一環として実施。町民の皆さんとの交流やさまざまな活動を通じて、地域に根差した唯一の学びに取り組んでいます。



収録の順番を待ちながら何度も練習を重ねる生徒たちと収録の様子(円内)

### 第5回健康講話開催 食べ過ぎでも肝障害

国民健康保険葛巻病院(遠藤秀彦院長)の令和2年度第5回健康講話は1月21日、同院の活いきホールで開催され、町内医療関係者ら約20人が出席しました。

県立久慈病院の坂岡雅史医師が「肝臓のお話について」と題して、肝障害や肝臓とアルコールの関係などについて講演。お酒を飲まない人でも非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)になることもあるとの説明に、出席者たちは興味深く耳を傾け、お酒との付き合い方などについて、積極的に質問していました。



肝障害の説明に真剣に耳を傾ける出席者たちと講師の坂岡雅史医師(円内)